

Ⅱ-人口に関する分析

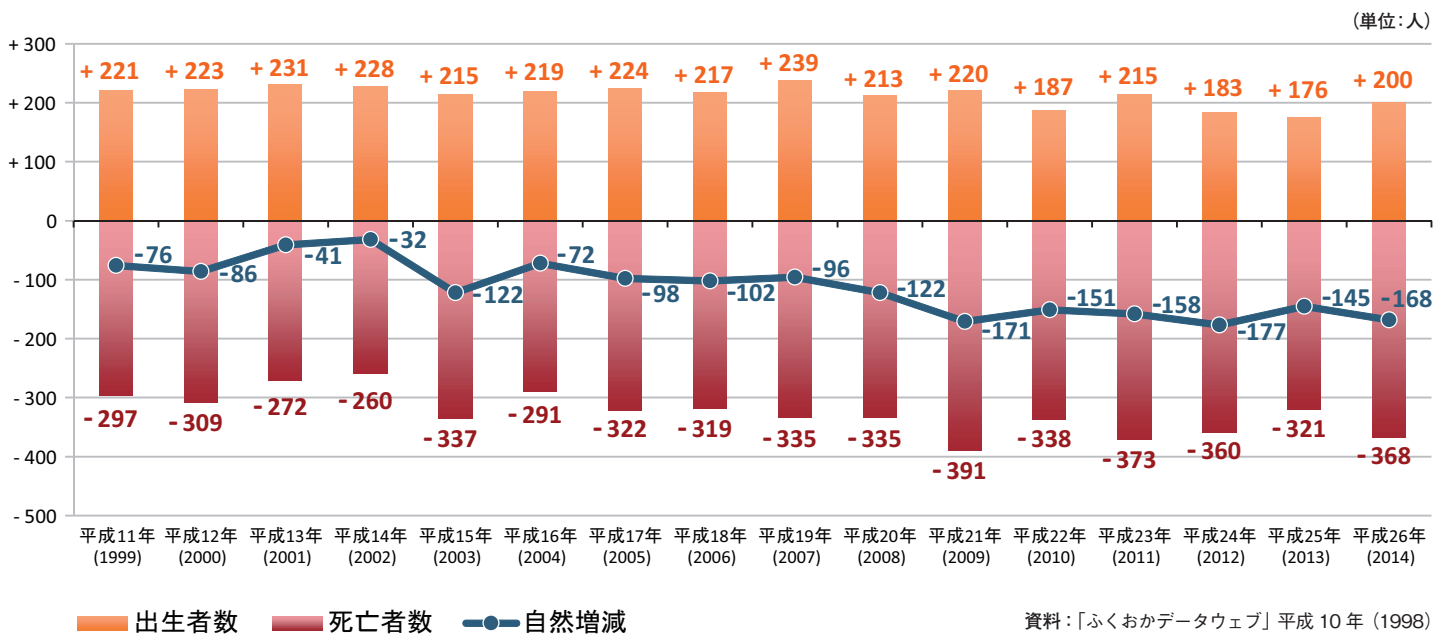
3 人口の自然増減の分析

① 出生者数・死亡者数（自然増減）の概要

本 町の出生者数は平成25年(2013)で170人、直近10年間の年間平均は約215人で推移している。また、直近の合計特殊出生率は1.62で全国

平均の1.38を上回っており、上昇傾向にある。一方、死亡者数は平成25年(2013)で321人、直近10年間の年間平均は約340人で推移している。

図14 福智町の出生者数・死亡者数（自然増減）の推移【平成11年(1999)～平成26年(2014)】

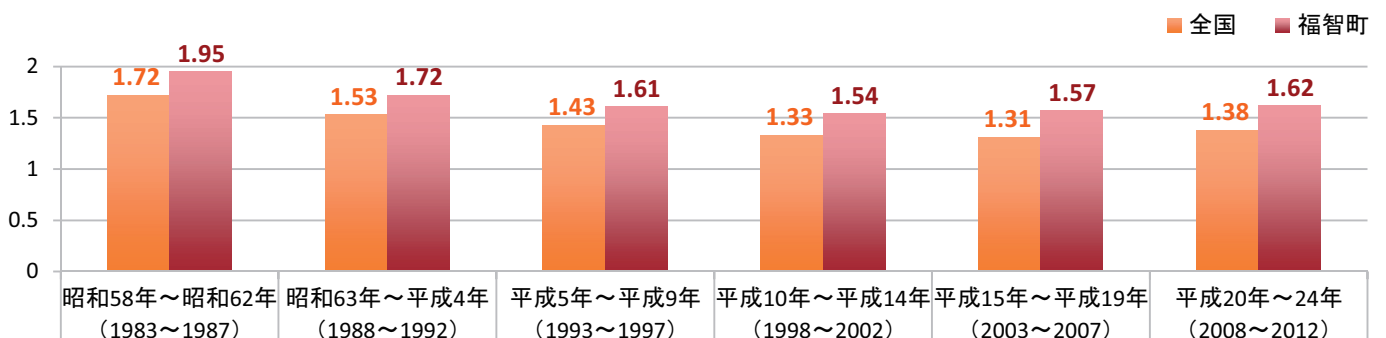


② 合計特殊出生率の推移

本 町の合計特殊出生率は、全国平均と比較して0.2ポイント程度高い状況にある。
▶直近10年は回復傾向となっており、今後、子育て

て支援をはじめとする総合戦略の実施により、平成31年(2019)に1.8、平成41年(2029)までに2.0への回復を目標とする。

図15 福智町の合計特殊出生率の推移/福智町・全国【昭和58年(1983)～平成24年(2012)】

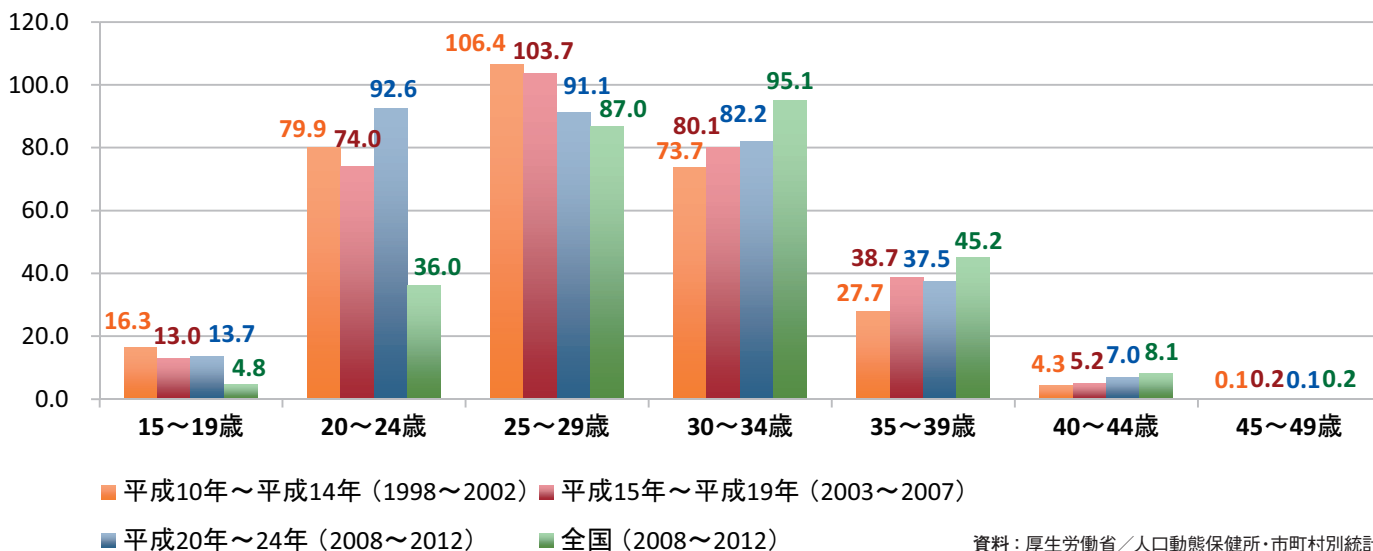


③ 出産した女性の年齢別出生率の推移

本 町における出産した女性の年齢は、全国と比較し、15歳～24歳の若年層の出産が多いのが特徴である。特に、直近のデータである「平成20年～24年の20歳～24歳の年齢層」の値が顕著である。一方、「平成20年～24年の25歳～29歳の年齢層」が大きく減少している。

▶本町が掲げる合計特殊出生率の長期的な目標値は「2.0」である。そのため、女性の夫婦率（結婚して離婚していない割合）が6割程度の本町の状況を前提にすると、一人の母親が3人以上の子を出産する必要がある。したがって、第3子を生み育てやすい手厚い支援や環境の整備が不可欠である。

図16 福智町における出産した女性の年齢別出生率の推移／福智町・全国【平成10年(1998)～平成24年(2012)】



④ 女性の年代別婚姻状況

本 町における婚姻状況は ①15歳～29歳の既婚率の高さ ②離別率の高さ ③30代以降の夫婦率の低さが特徴となっている。出生率の改善に

は、本町の地域課題でもある離婚率の改善が求められることから、子育て支援および就労支援等の拡充により、婚姻状態維持への寄与を図っていく。

図17 福智町における女性の年齢別未婚率／福智町・福岡県・全国【平成22年(2010)】

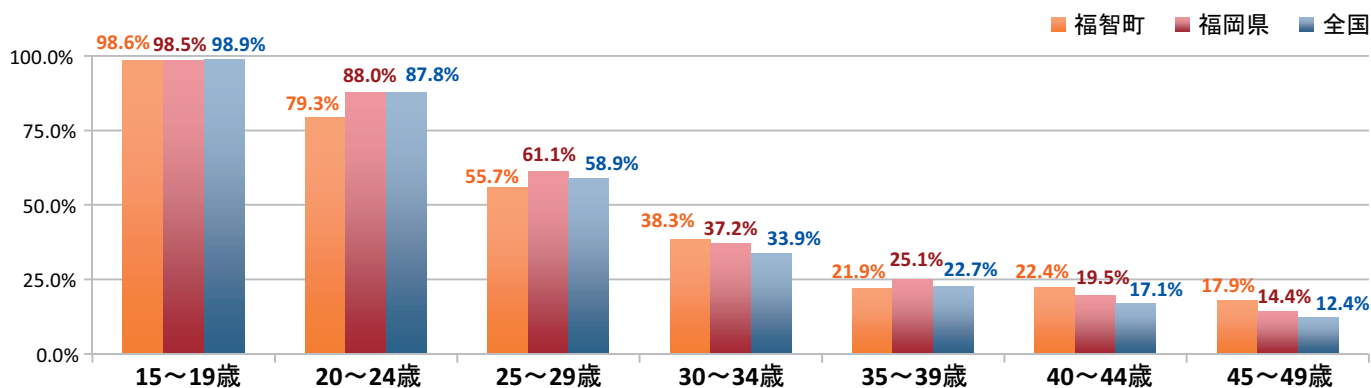
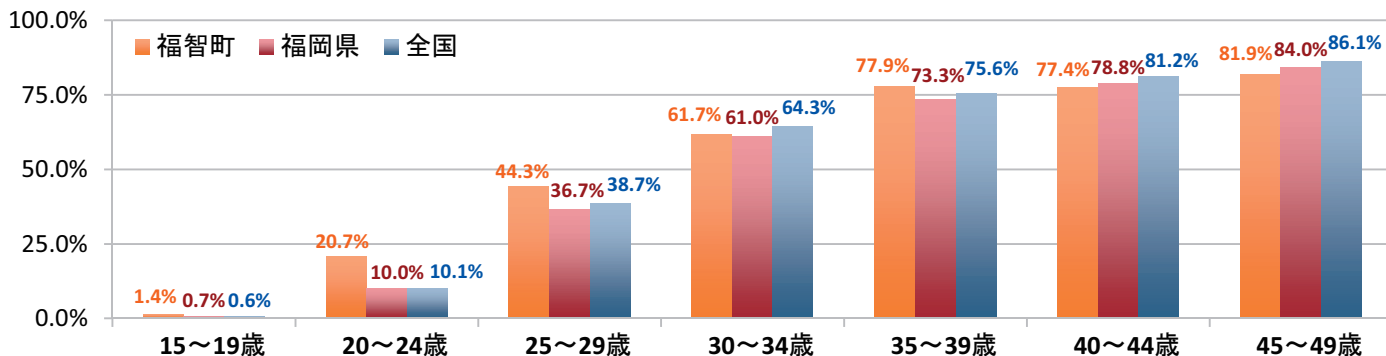
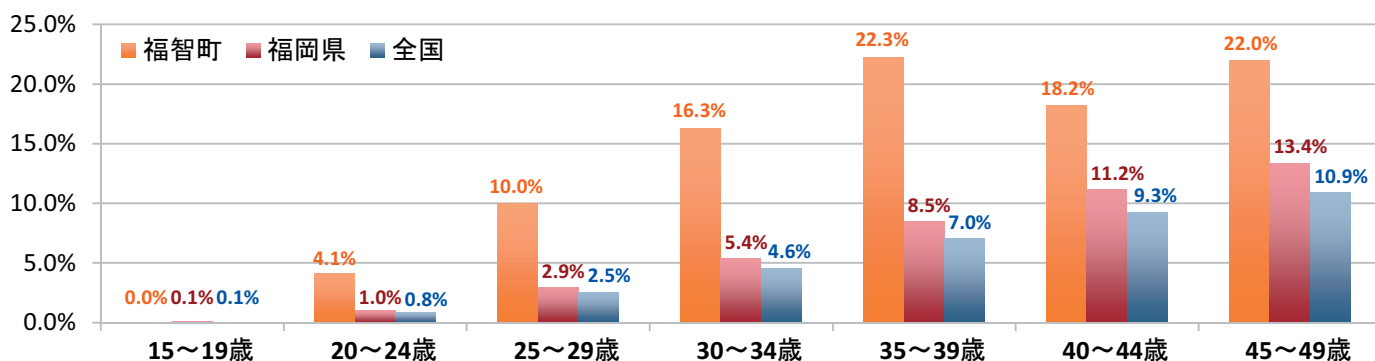


図18 福智町における女性の年齢別既婚率／福智町・福岡県・全国【平成22年(2010)】



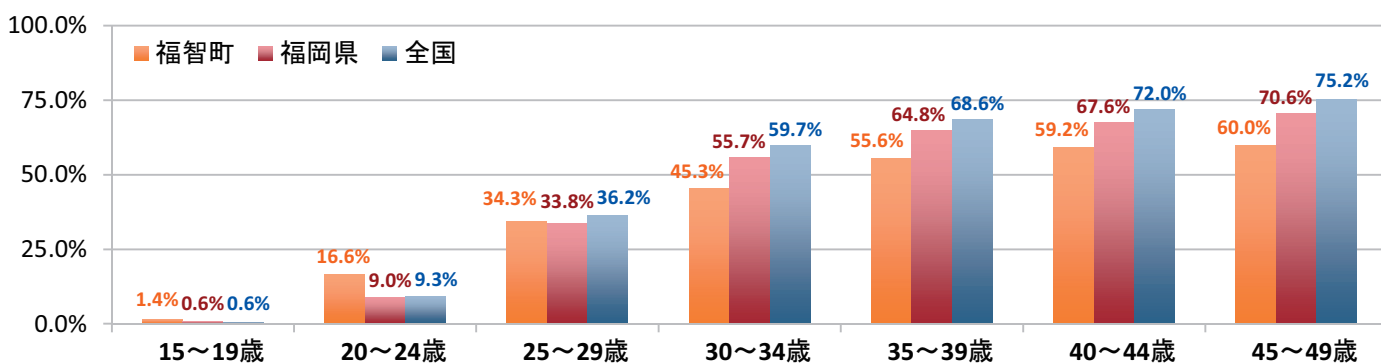
資料：国勢調査／平成22年(2010)

図19 福智町における女性の年齢別離別・死別率／福智町・福岡県・全国【平成22年(2010)】



資料：国勢調査／平成22年(2010)

図20 福智町における女性の年齢別夫婦率／福智町・福岡県・全国【平成22年(2010)】



資料：国勢調査／平成22年(2010)